

小樽南ロータリークラブ会報

よいことの
ために
手を取りあおう



2025-2026 年度 R I 第 2510 地区目標

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 会員増強 | 5. 女性会員増強 |
| 2. クラブ活性化 | 6. 会員研修充実 |
| 3. 奉仕活動推進 | 7. 紛争予防と平和推進 |
| 4. 若い世代とのつながり強化 | 8. ロータリー財団活動強化 |

My Rotary
2510地区ホームページ
ICT委員会Facebook
各委員会へのメール



2025-2026年度 地区活動方針
Revival (リバイバル)
～原点に立ち返り、未来への繁栄へ～

- 例会場：オーセントホテル小樽 ● 例会日：毎週金曜日 12 時 30 分
- 事務局：〒047-0032 小樽市稲穂 2-15-1 (オーセントホテル内) TEL.0134-27-8123 FAX.0134-26-6935
- Club Homepage：URL <https://rid2510.org/otarusouth/>

■ 小樽ビジョン実行委員会実行委員長 面野様 卓話

1960年創立
昭和35年2月5日

2025年10月24日発行
通巻第3107号

10

- 今週 10月24日
● 平山秀朋様 卓話
- 来週 10月31日
● 小樽双葉高等学校 三影はつか様 卓話
- 再来週 11月7日
● 休会

■ ロータリーソング【日も風も星も】

■ 会長挨拶【佐藤友美会長】



本日は面野様、ロータリークラブへようこそお越しくださいました。ご実家が私の医院の近くで、ご家族の皆様にも日頃よりお世話になっており、こうしてお会できるのはご縁を感じます。

先日のラジオ体操にも早朝から多くの方にご参加いただき、ありがとうございました。ご好評でしたので6月にもう一度開催したいと思っています。また、最近は新型コロナウイルスの感染が再び増えており高齢の方を中心に発熱外来の受診も増えているようです。季節の変わり目ですので皆様どうぞ体調にご留意のうえお過ごしください。

■ 第4回小樽南RCゴルフ同好会コンペ開催



10月4日、秋の寒さを感じる朝の中、小樽カントリー旧コースにて最年長の見延会員の参加を頂き精鋭9名米山会員、山村会員、伊藤会員、三栖会員、佐藤会長、山田会員、田中会員、井手による本年度最終コンペが開催されました。ハーフのターンする頃には秋の陽気に感じ、無事にプレーをすることが出来ました。優勝は南RCエースの米山会員。準優勝には三栖会員。3位に田中会員となりました。

夕方、庄坊番屋にて表彰式、納会を開催し年間を通じた表彰も行われました。年間優勝はやはり米山会員、準優勝は山村ゴルフ同好会会長となり、また数々の表彰が行われ一年間無事終わったことを報告し、来年も楽しくプレーが出来る誓い本年度のゴルフ同好会を終了しました。

■ 幹事報告

① 次回以降の例会プログラム

10日、17日：休会

10月24日：通常例会

② 座席を変更いたしました。会長方針により上座が固定されていると交流が偏るため誕生月の近い方同士で席を組み合わせせております。

③ 10月の例会は10日と17日が休会、次回は24日の通常例会です。同日にはウイングベイ小樽で3クラブ合同の「ポリオデー」募金活動を実施し潮陵高校プラスバンドの演奏も予定されています。

④ 地区大会には当クラブから10名が参加予定です。

⑤ 銭函ロータリー50周年記念式典の出欠につきましてまだ回答していない方がいましたら幹事にご回答お願い致します。

⑥ 11月3日の酒田・鹿児島両クラブとの交流会についてもご案内致します。

⑦ 11月24日奥沢村会を宏楽園にて開催予定です。

■ 25-26 年度地区大会に参加

10月11、12日函館で開催された地区大会に参加し、充実した二日間を過ごしました。特に須田慎一郎さんの講演「日本経済の表と裏」は、時事問題をユーモアを交えて解説され、とても興味深く聴き入りました。石野真子さんのステージは、往年のヒット曲とともに会場が一体となって盛り上がり、熱気あふれる時間でした。

大懇親会の後は、仲間とともに函館の夜を楽しみ、二次会、三次会、そして締めめのラーメンまで笑いの絶えないひとときとなりました。



■小樽ビジョン実行委員会実行委員長面野様卓話



小樽南ロータリークラブの皆様が、1960年の発足以来、長年にわたり地域・社会貢献活動を続けておられることに深く敬意を表します。私自身も日常的にまちづくりや地域振興に関わり、地域の魅力を高める活動に携わっております。

さて、今回のテーマである「2038年小樽ビジョン」についてお話いたします。小樽市は人口減少と少子高齢化が深刻な課題ですが、コロナ禍以降は観光客がV字回復し年間800万人を超える来訪者を迎えています。この賑わいは経済にも大きく寄与しています。国では「地方創生」の一環として地域と多様に関わる「関係人口」を今後10年間で1,000万人に増やす方針を掲げています。観光やふるさと納税などを通じて小樽と関わる人々は、この関係人口の「予備軍」となり得ます。したがって、観光振興は人口減少対策の観点からも極めて重要です。

2038年という年号を掲げた理由は、北海道新幹線の小樽延伸開業が予定されているためです。新幹線は小樽の人流を大きく変える転機となるでしょう。私たちはこの機会を前向きに捉え開業までの期間に新たな魅力づくりを進めていきたいと考えています。実行委員会は堺町通り商店街の池田氏（大正硝子館）、西條産業の西條氏、「湯の花」運営の橋本氏の3名の副委員長とともに構成されています。

本フォーラムでは、小樽が今年「日本遺産」として単独認定を受け、さらに7月には「歴史的風致維持向上計画（歴まち計画）」を策定したことを踏まえ歴史文化と観光を両輪とした地域振興の方向性を議論します。しかし、これらの制度だけでは不十分であり私たちは文化庁が所管する「重要伝統的建造物群保存地区（重伝建）」の指定を目指しています。これは歴史的町並みを街ごと文化財として保存する制度で建物修理への補助金や外観維持のルールづくりが可能になります。堺町通りを重伝建に認定することは町並みの保全と観光資源の価値向上に直結します。また、無秩序な開発や海外資本による町並み破壊を防ぐ有効な手段にもなります。

実は約50年前、運河論争の終結期に文化庁から小樽市へ重伝建指定の打診がありましたが当時は歴史文化行政への理解が乏しく見送られました。現在は観光都市として成熟した小樽がその課題を乗り越え次の段階へ進む好機にあると考えています。重伝建指定には条例制定や都市計画変更、住民合意形成など多くの手続きが必要で認定まで10年を要するのが一般的です。したがって、

2038年という年はちょうどその努力の成果が実を結ぶタイミングと重なります。

この構想を後押ししてくださったのが北海道大学の西山教授です。2023年の「全国町並みゼミ小樽大会」で堺町を視察された西山先生から、「重伝建に十分な資源がある」と高い評価をいただきました。この助言が本フォーラム立ち上げの原点となりました。

一方で、課題もあります。第一に、小樽市行政が主体的に取り組む姿勢を持つこと。第二に、堺町地域の住民・事業者の理解と同意を広げることです。現在、商店街の理事会や青年部と協議を重ね、先進事例である金沢市東山地区を視察しながら、合意形成の取り組みを進めています。

10月12日のフォーラムでは、文化庁の調査官と西山教授をお招きし堺町通りの現地視察とパネルディスカッションを実施します。さらに山口県萩市「まちじゅう博物館」の館長による基調講演も予定しています。

また、前日の10月11日には朝里会場で地域遺産連合会によるフォーラムを開催し塩谷・蘭島など各地域の文化保全活動を共有しつつ小樽商科大学の高野氏らによる講演を通して、小樽全体の地域資源の未来を考えます。

この二日間を通して、小樽の歴史・文化・観光の新たな可能性を探る機会としたいと考えております。ご興味のある方はぜひチラシのQRコードからお申し込みください。今後とも「2038年小樽ビジョン」にご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



会 員 誕 生 祝

荒田 純司 会員 石上 壽應 会員 中井 健太郎 会員
前川 勝美 会員 米山 八郎 会員 鈴木 崇史 会員

おめでとうございます

まごころ箱・・・いつも有難うございます！

佐藤（友）会員…面野様本日は卓話ありがとうございます。9月12日早朝例会参加して下さった皆様早起きしていただきありがとうございます。
見延 会員…9月12日北野会員の叙勲祝賀会がありました。保健衛生功労ということで旭日双光章の受賞でした。8年前（2017年）に産業経済功労で斎田義孝会員が受賞しています。改めましておめでとうございます。
伊藤（嘉）会員…誕生日プレゼントありがとうございます。73歳になりました。又9月13日ゴルフ同好会コンペ優勝しました。

福島 会員…9月13日第4回ゴルフ同好会コンペで準優勝いたしました。
廣瀬 会員…結婚祝55年良く持っています。宿命ですかね！
岡崎 会員…久しぶりに出席いたしました。
前川 会員…会員誕生祝
荒田 会員…会員誕生祝

入金集計額 令和7.7.1～令和7.10.3 (22,000円)

合計 258,000円